農薬を使用する皆様へ

住宅地等における農薬使用について



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」

住宅地等とは…

学校、保育所、病院、公園等の公共施設内の植物、街路樹、住宅地に近接する農地（市民農園や家庭菜園を含む）、森林等が対象となります。

住宅地等で農薬を使用する場合には、
飛散防止に努め、周囲に十分な配慮をしましょう。

農薬の飛散により、近所の方や子ども等に健康被害を及ぼすことがないよう、なるべく農薬を使用しないようにしましょう。

やむを得ず農薬を使用する場合は、飛散防止対策を徹底しましょう。

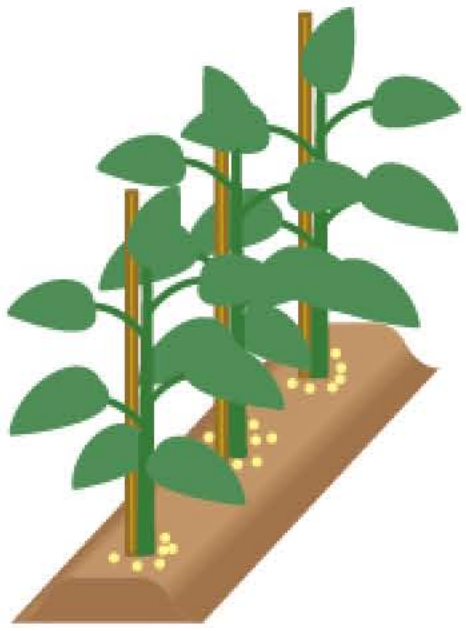
彩の国 埼玉県

農薬飛散による被害の発生を防ぐために

周囲へ飛散しにくい農薬を選びましょう

飛散しにくい薬剤（粒剤）や塗布、樹幹注入、フェロモン剤による誘引など、飛散の少ない農薬を使用しましょう。

やむを得ず農薬を散布する場合は、害虫の発生箇所のみに散布する等、最小限の区域にしましょう。



粒剤の株元散布



塗布



樹幹注入



フェロモン剤による誘引

農薬を使用するときの天候や時間帯に注意しましょう

無風か風の弱いときに行うなど、天候や時間帯を選んで行いましょう。

特に、近くに学校、通学路がある場合は、子どもがいる時間帯の農薬散布はやめましょう。

事前に十分な周知を行いましょう

農薬を散布する際は、事前に周囲に住んでいる方等へ十分な周知を行いましょう。

近隣に学校や通学路がある場合は、学校や保護者等にも連絡しましょう。



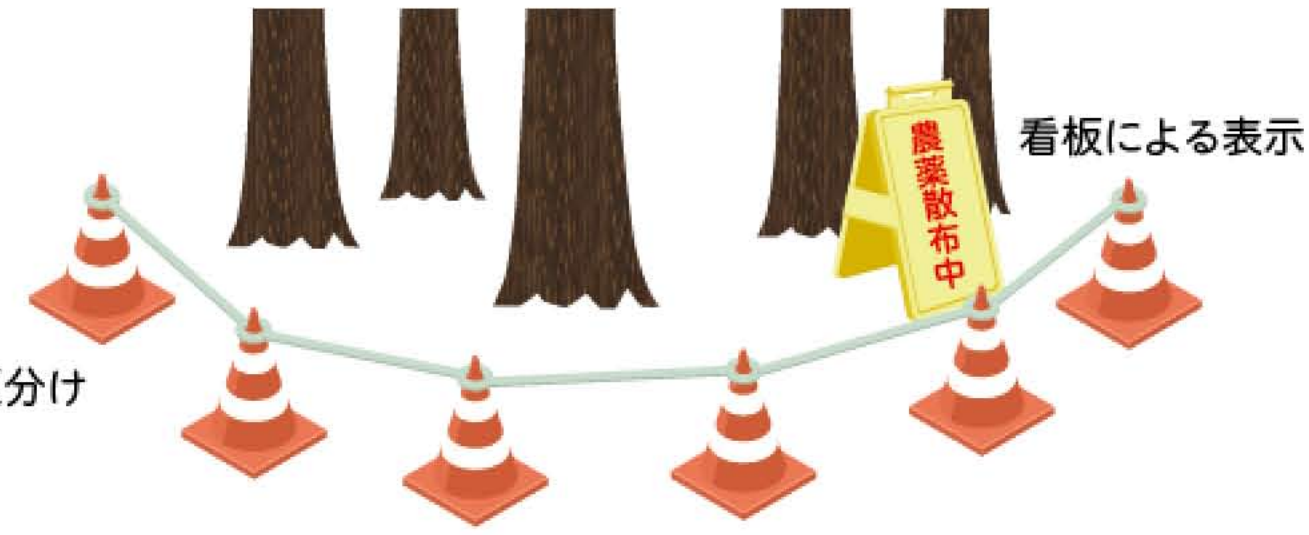
農薬散布のお知らせ

散布日時：○月○日（○）
○時○分～○時○分
使用農薬：○○○（殺虫剤）
使用目的：害虫防除のため
散布者連絡先：○○○○
TEL ○○○○○○○○

立て看板等による事前周知の記載例

散布区域に**人が入らないよう**対策を講じましょう

看板による表示などを行い、散布区域に人が立ち入ることがないよう配慮しましょう。



農薬使用の**量と回数**を減らしましょう

【病害虫や雑草の**早期発見**に努めましょう】

観察や見回りなどを行い、病害虫被害や雑草の早期発見に努めましょう。

【農薬の**スケジュール散布**はやめましょう】

病害虫の発生や被害を確認せず定期的に農薬を散布することはやめましょう。

【栽培前に**病害虫に強い作物や樹木、品種**を検討しましょう】

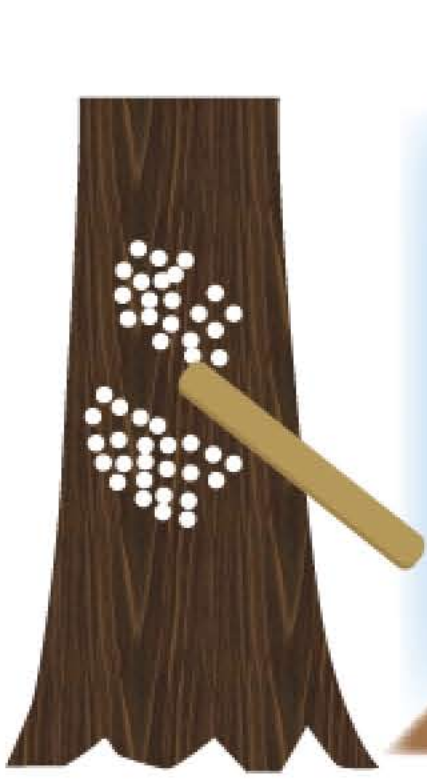
【**連作を避け**、適切な土つくりや施肥を行いましょう】

同じ土地に、続けて同じ作物を栽培（連作）すると、病害等が発生しやすくなるので避けましょう。

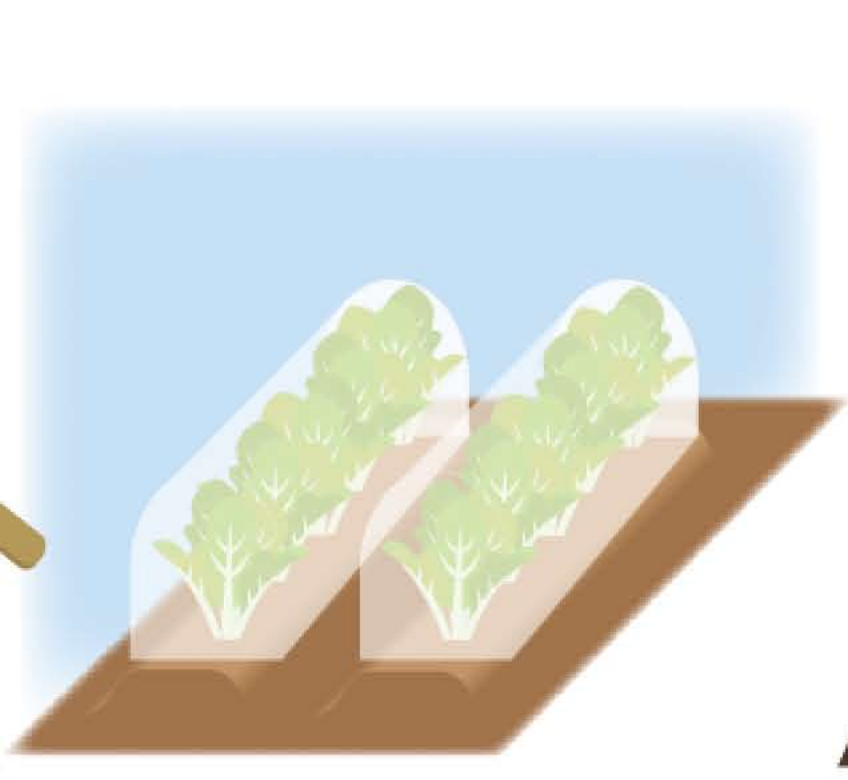
【農薬以外の**物理的防除を優先**して実施しましょう】

害虫の捕殺や被害を受けた部分の除去などを優先し、

やむを得ない場合にのみ、農薬による防除を行いましょう。



掻き落としによる
カイガラムシ等の
駆除



不織布（防虫網）
による被覆



コモ巻きによる
害虫の捕殺



剪定による
捕殺

農薬を使用する場合に守るべきこと

ラベルに記載された内容に従って使いましょう

農薬取締法に基づいて登録された、対象の植物に適用のある農薬を、ラベルに記載された使用方法及び使用上の注意事項を守って使用しましょう。

使用基準（適用農作物、使用量又は希釈倍数、使用時期、使用回数、使用方法等）を確認

農薬の登録を確認（特定農薬を除く）

〈ラベル例〉

農林水産省登録第○○○号

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール当たり使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	△△を含む農薬の総使用回数
□□□	灰色かび病	600倍	200～700リットル	収穫30日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
□○□	炭疽病	500倍	150～300リットル	収穫7日前まで	4 回以内	散布	4 回以内

【効果・薬害等の注意】

・・・・・・・・・・・・・

【安全使用上の注意】

・・・・・・・・・・・・・

最終有効年月（西暦下2けた）22．11

注意事項も必ずチェック

有効年月以内であることを確認

農薬の使用履歴を記録し、保管しましょう

農薬を使用した年月日、場所及び対象植物、使用した農薬の種類名又は商品名、単位面積当たりの使用量又は希釈倍数について記帳し、一定期間保管しましょう。

むやみな農薬の現地混用はやめましょう

ラベルに混用に関する注意事項がある場合は、必ず守りましょう。

農薬は適正に管理しましょう

鍵のかかる保管庫等で管理し、定期的に量を把握し記録しましょう。

廃棄する場合は許可を受けた業者に委託するなど、適正に処分しましょう。

埼玉県農産物安全課　☎０４８－８３０－４０５３

埼玉県病害虫防除所　☎０４８－５３９－０６６１

作成　令和４年３月

SDGs未来都市

埼玉県